

## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-1 市民参画・協働	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	市民が主体に活躍できるまち		
	市民の意見を市政に反映する場や機会が充実しており、市民と行政の信頼関係から生まれた協働の考え方のもと、それぞれの役割や責任に応じた行動により、まちづくりが行われています。また、様々なテーマで活動する市民活動団体がまちづくりの担い手として活躍しています。		
施策の展開方向	①市政への市民参画の推進 ②市民協働の推進		

### 施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 地域活動やボランティア活動が活発なまちだと思ふ市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	60
		実績	%	51.8	—	—	47.9	—
	② 市政への市民参画の機会が増えたと思ふ市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	55
		実績	%	44.6	—	—	45.1	—
	③ 市民活動団体として登録している団体数	目標	団体	—	—	—	—	50
		実績	団体	9	51	69		
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	17,615	25,739	25,201			
事業費		千円	5,504	11,506	11,731			
人件費		千円	12,111	14,233	13,470			

### 施策の成果について(CHECK)

目標達成度合い(評価)	D 改善が必要	理由
成果		市民活動団体の登録数は増加しているものの、地域活動やボランティア活動が活発なまちだと思ふ市民の割合は低下していることから、左の評価とした。  ◆泉大津市参画及び協働の推進に関する条例に基づき設置している参画と協働のまちづくり推進会議において、本市施策の進捗状況を報告の上、評価並びに次年度以降の施策の方向性についての意見を聴取した。 ◆市民活動促進の支援拠点である市民活動支援センターの運営を行い、市民公益活動に関するセミナーや研修会を開催した。 ◆泉大津市がんばろう基金を活用した助成制度により、公益性のある市民の自発的な特定非営利活動を支援した。
課題		◆市民の参画・協働を推進する条例及び活動支援拠点の整備を行ってはいるが、自発的・主体的に活動を行うと市民の広がりが少ない。

### 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆市民活動の拠点施設である市民活動支援センターの更なる活性化を図るとともに、継続性・発展性のある市民公益活動に対して「がんばる市民公益活動補助金」の積極的な活用を促し、市民活動を主体的・自発的に担うことができる団体の育成に努める。
-----------	---

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-1 市民参画・協働						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	秘書広報課	受賞者表彰式(一般事務事業)	2,326	138	2,188	A	現行どおり	
2	秘書広報課	新年互礼会(一般事務事業)	2,517	329	2,188	A	現行どおり	
3	秘書広報課	有功者表彰事業	4,387	558	3,829	A	現行どおり	
4	人権市民協働課	市民協働推進事業	2,099	116	1,983	A	現行どおり	
5	人権市民協働課	市民活動支援センター運営事業	11,642	9,454	2,188	B	要改善	
6	人権市民協働課	特定非営利活動支援事業	2,230	1,136	1,094	A	現行どおり	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			25,201	11,731	13,470			
事務事業の方向性	A 現行どおり	5 本	B 要改善	1 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-2 地域コミュニティ	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	地域がつながり地域で課題解決できるまち		
	世代を超えた交流により、地域コミュニティが生まれ、程よい距離感で、顔見知りの関係が築かれています。地域活動のネットワーク化やリーダー育成などにより、身近にある課題を地域で解決できるまちとなっています。		
施策の展開方向	①地域コミュニティのネットワーク化の促進 ②地域コミュニティに対する意識の醸成と支援		

### 施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 地域の中で人のつながりがあると思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	65
		実績	%	59.9	—	—	57.8	—
	② 地域活動の中心となるリーダーが育っていると思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	45
		実績	%	35.9	—	—	35.8	—
	③	目標						
		実績						
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	10,284	26,268	16,094			
事業費		千円	6,154	20,574	11,205			
人件費		千円	4,130	5,694	4,889			

### 施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	D 改善が必要	理由	自治会活動を主体とした地域コミュニティ活性化のための施策を講じてはいるが、加入率は依然として低下傾向にあることから、左の評価とした。
成果	◆「自治会加入促進の手引き」の作成(平成28年3月)や、先進事例の視察とその内容の紹介など、地域におけるコミュニティ活動の中心となる自治会への加入促進のための取り組みを継続的に行っており、旭小学校区においては、市内で初めて小学校区単位でのコミュニティ協議会設立に向けての検討会を実施している。 ◆市民、市民活動団体、企業、市職員、学生を対象に、意識改革と地域リーダーの育成を目的とした研修会を実施した。			
課題	◆核家族化やライフスタイルの変化などに伴い、近隣との関わり合いや地域への帰属意識は希薄化する一方であり、加えて高齢化による独居老人世帯が増加し続ける中で、自治会への加入率の低下傾向に歯止めがかからない。 ◆若年代を中心とする人口減少により、地域のコミュニティ活性化に向けた活動の担い手となる人材が不足している。			

### 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆地域の課題を地域で解決する成功事例を地道に積み重ねることにより、地域への関心やコミュニティへの帰属意識を高めていくような息の長い取り組みを自治会に促すとともに、このような活動の担い手となる地域リーダーの発掘及び養成に努める。
-----------	---

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-2 地域コミュニティ						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	人権市民協働課	自治会活動助成事業(自治会連合会への補助)	8,737	5,489	3,248	A	現行どおり	
2	人権市民協働課	自治会活動助成事業(自治会館整備事業の補助)	5,677	5,130	547	A	現行どおり	
3	人権市民協働課	地域コミュニティ活性化事業	1,680	586	1,094	A	現行どおり	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			16,094	11,205	4,889			
事務事業の方向性	A 現行どおり	3 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-3 男女共同参画	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	誰もが能力と個性を發揮できるまち		
	性別に関わらず、仕事や子育て、家事、介護など、あらゆる場面で男女が互いを尊重し、ともに責任を担い、協力しあうことで、誰もが能力と個性を發揮できるまちとなっています。		
施策の展開方向	①男女共同参画社会の実現に向けた環境整備 ②男女平等教育の推進 ③男女共同参画社会の実現に向けた活動支援		

### 施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 家庭生活や職場、学校、地域において、男女が平等であると思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	65
		実績	%	61.3	—	—	62.6	—
	② 審議会委員の女性割合	目標	%	—	—	—	—	35
		実績	%	27.6	30.4	29.3		
	③	目標						
		実績						
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	8,789	7,268	8,270			
事業費		千円	1,405	1,228	1,055			
人件費		千円	7,384	6,040	7,215			

### 施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	D 改善が必要	理由	男女が平等であると思う市民の割合は若干増えているものの、より効果的な啓発方法等の必要性があることから、左の評価とした。
	◆すてきに生きる女と男をメインテーマとする啓発フォーラムを市民との協働で開催したほか、男女共同参画施策推進の拠点施設である男女共同参画交流サロン(愛称:にんじんサロン)において、学習、交流、情報発信・収集などの事業を行った。 ◆フェミニストカウンセラーによる面談相談を実施し、女性特有の悩みや問題に係る相談に応じている。			
課題	◆啓発フォーラムについては、男性や若年層、子育て世代の参加が少ない、また、男女共同参画交流サロンの利用者が固定的なことから、施策の推進に関わる人的な広がりが難しい。			

### 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆より効果的な意識啓発方法の研究を進めるとともに、男女共同参画を推進する担い手となる人材の発掘、リーダーの養成に努める。
-----------	--

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-3 男女共同参画						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	人権市民協働課	人権相談事業(女性相談)	649	307	342	A	現行どおり	
2	人権市民協働課	男女共同参画推進事業(フォーラム in 泉大津)	2,861	365	2,496	A	現行どおり	
3	人権市民協働課	男女共同参画推進事業(にんじんサロン)	4,760	383	4,377	A	現行どおり	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			8,270	1,055	7,215			
事務事業の方向性	A 現行どおり	3 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

## 施策評価シート

施策の概要 (PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-4 人権・平和	取りまとめ	人権市民協働課
めざす姿	思いやりを持ち人権が尊重されるまち		
	人権教育や意識啓発が継続的に行われており、市民一人ひとりが人権を尊重する意識、平和への願いを持ち、安心して生活を送ることのできるまちとなっています。		
施策の展開方向	①人権教育・啓発の推進 ②平和に対する教育・啓発の推進		

### 施策の成果指標と実績 (DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 差別やいじめ、虐待があるまちだと思う市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	0
		実績	%	9.9	—	7.2	—	
	② 人権・平和に関する研修・講演会・セミナー等への参加者数	目標	人	—	—	—	—	580
		実績	人	512	557	622		
	③	目標						
		実績						
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	15,074	16,972	20,953			
事業費		千円	5,018	5,132	5,260			
人件費		千円	10,056	11,840	15,693			

### 施策の成果について (CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	C 概ね順調	理由	人権・平和に関する研修や講演会、セミナー等への参加者数は増えており、差別やいじめ、虐待があるまちだと思う市民の割合も低下していることから、左の評価とした。
	◆憲法週間、就職差別撤廃月間、男女雇用機会均等月間にちなんだ街頭啓発や講演会、人権パネル展、人権啓発作品展などの事業を通じて人権の尊重をアピールした。 ◆「平和メッセージ展」や「平和パネル展」の開催や小学生を対象とする「夏休みこども学習会(ピースディスカッション)」を実施した。			
課題	◆人権・平和ともに市民の関心を引き起こすことは困難なテーマである。			

### 今後の施策の方向性 (ACTION)

今後の施策の方向性	◆より効果的な啓発手法の工夫を加えながら、人権や平和を尊ぶ市民意識の一層の向上を図る。
-----------	---

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-4 人権・平和						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	人権市民協働課	人権相談事業	6,372	1,859	4,513	A	現行どおり	
2	人権市民協働課	団体等育成支援事業(人権市民協働課)	5,274	2,060	3,214	A	現行どおり	
3	人権市民協働課	人権啓発推進事業	2,684	154	2,530	A	現行どおり	
4	人権市民協働課	人権行政推進事業	4,714	919	3,795	A	現行どおり	
5	人権市民協働課	非核平和啓発事業	1,909	268	1,641	A	現行どおり	
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			20,953	5,260	15,693			
事務事業の方向性	A 現行どおり	5 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本



## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり		
基本施策名	1-5 多文化共生	取りまとめ	企画調整課
めざす姿	多様な価値観を共感できるまち		
	国内外の都市・地域との交流が活発に行われており、互いの慣習・文化の違いを理解し、多様な価値観を認め合える市民が増えています。また、グローバルな視点を持ち、国際社会に対応できる人材が育成されています。		
施策の展開方向	①国際化に対応する人づくり ②多文化共生をめざすまちづくり ③交流活動の推進		

### 施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 自分とは違う価値観や慣習、他の地域・国の文化を理解するようにしている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	77
		実績	%	71.6	—	—	72.5	—
	② 市が関わる国際交流活動に参加したボランティアの数	目標	人	—	—	—	—	12
		実績	人	8	9	9		
	③ 国際交流協会会員(個人・団体・法人)	目標	会員	—	—	—	—	85
		実績	会員	57	86	99		
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	4,620	7,225	3,782			
事業費		千円	1,611	2,985	1,525			
人件費		千円	3,009	4,240	2,257			

### 施策の成果について(CHECK)

	目標達成度合 (評価)	D 改善が必要	理由
成果			国際化の進展に伴い、他の地域・国の文化に対する理解や国際交流協会の会員数に係る指標は若干上昇しているものの、国際交流活動に関わる市民の広がりが見られないことから、左の評価とした。
課題	◆国際化に対応する人づくりに向けて、フカキ夢・ひとづくり事業による海外派遣研修を実施し、広い視野と国際感覚を持った国際化時代にふさわしい人材を育成するため、公募市民14人をフィリピン・セブ島に派遣した。 ◆多文化共生をめざすまちづくりに向けて、海外友好都市であるオーストラリアのグレーター・シドニー市からの泉州国際市民マラソンへのランナー招へい、同市で開催されるグレートオーシャンロードマラソンへの公募市民ランナーの派遣などの機会を通して、国際交流市民ボランティアやホストファミリーなどとの交流を深め、国際感覚の醸成や異文化理解の深化を図っている。		
課題	◆多文化共生という施策を推進するにあたっては、各種の国際交流活動に参加する市民に大きな広がりがなく、国際化に対応する人づくりとしては、フカキ夢・ひとづくり事業による海外派遣研修の期間が8日間と短い。		

### 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆フカキ夢・ひとづくり事業による海外派遣研修の効果を検証し、国際化に対応する人づくりに向けた新たな事業展開を模索し、国際交流活動に関わる市民の輪を広げることで、国際感覚の醸成や異文化理解の深化を図り多文化共生のまちづくりを進める。
-----------	---

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり						
基本施策名		1-5 多文化共生						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	企画調整課	フカキ夢・ひとづくり海外派遣研修事業	1,989	1,442	547	B	要改善	
2	企画調整課	国際交流事業(海外友好都市マラソン選手受入及び派遣事業)	1,474	38	1,436	B	要改善	
3	企画調整課	国際交流事業(国際交流事業補助金)	319	45	274	B	要改善	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			3,782	1,525	2,257			
事務事業の方向性	A 現行どおり	0 本	B 要改善	3 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本